

課程 / Program	後期課程	開講年度・学期 / Semester	2026年度 1 期、2026年度 2 期
授業区分	週間授業	合併講義等	
授業名 / Subject	論文指導 英語学・英語教育学		
授業担当教員/Faculty	佐藤 雄大		
授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	<p>博士後期課程での研究を深め、円滑に研究が実施できるようにリサーチワークを行う。研究課題ごとに、研究テーマに則した研究計画を立て、先行研究の収集・分析を行い、研究仮説の設定、研究方法の決定、データ収集と分析、結果と考察、課題の整理などを適切に行えるように指導する。毎回の授業終了時に課題を出し、課題の報告を基に次回の授業を進めていく。これらの課題の結果を報告書にまとめて発表するように指導する。「論文指導」では、この報告書を精緻化して博士論文にまとめていく。</p> <p>AIの使用については授業で説明する。</p>		
授業計画 / Schedule	<p>第1, 2回 授業の目標と概要 (lesson objectives and overview)</p> <p>第3, 4回 研究計画 (research plan)</p> <p>第5, 6回 先行研究の整理 (organizing previous studies)</p> <p>第7, 8回 先行研究の検討 (examination of previous research)</p> <p>第9, 10回 研究仮説の設定 (developing research questions)</p> <p>第11, 12回 研究方法の検討 (study of research methods)</p> <p>第13, 14回 データ収集 (予備研究) (Data collection for a pilot study)</p> <p>第15, 16回 データ収集 (本研究) (Data collection for a main study)</p> <p>第17, 18回 データ分析 (Data analysis)</p> <p>第19, 20回 結果の整理 (Results)</p> <p>第21, 22回 考察と課題 (Discussion and issues)</p> <p>第23, 24回 引用文献の整理 (References)</p> <p>第25, 26回 研究報告書の作成 (Research report presentation)</p> <p>第27, 27回 研究報告書の検討 (Research report review)</p> <p>第29, 30回 研究発表と課題の整理 (Research presentation and future issues)</p>		
成績評価基準 / Assessment criteria	授業中の取り組み、課題への対応状況、レポートの成績を総合的に判断して行う。		
教科書 (参考書) / Textbook/Reference Materials	教科書は使用しない。資料を配付する。 参考書については初回の授業で説明する。		

課程 / Program	博士後期課程	開講年度・学期 / Semester	2026年度 1期、2026年度 2期
授業区分	週間授業	合併講義等	
授業名 / Subject	論文指導 日本語学・日本語教育学		
授業担当教員/Faculty	早津 恵美子		
授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	<p>昨年度までの「研究指導」において、研究テーマ、研究課題、先行研究の整理ならびに問題点の指摘、実行可能な調査方法の決定、収集した言語データの分析方法の決定を終え、具体的な調査を開始して言語データを分析し始めて、すでに初稿を完成している。今年度は更に継続して、分析データの解釈の妥当性を探究し、わかりやすい博士論文全体の構成を再考することを目標にする。</p> <p>●本授業では、担当教員が許可した場合に限り、生成AIの利用を許可する。具体的な使用の範囲については授業中に適宜説明する。</p>		
授業計画 / Schedule	<ol style="list-style-type: none"> 1) 論文全体のフローチャートの作成 2) 第1章「はじめに」の原稿のフィードバックと加筆修正 3) 第2章「先行研究」の原稿のフィードバックと加筆修正 4) 第3章「調査」の原稿のフィードバックと加筆修正 5) 第4章「結果」の原稿のフィードバックと加筆修正 6) 第5章「考察」の原稿のフィードバックと加筆修正 7) 第6章「結論」の原稿のフィードバックと加筆修正 8) 図表、参考文献リスト、注、資料のフィードバックと加筆修正 9) 第1章「はじめに」の修正原稿のフィードバック 10) 第2章「先行研究」の修正原稿のフィードバック 11) 第3章「調査」の修正原稿のフィードバック 12) 第4章「結果」の修正原稿のフィードバック 13) 第5章「考察」の修正原稿のフィードバック 14) 第6章「結論」の修正原稿のフィードバック (online授業) 15) 図表、参考文献リスト、注、資料の修正原稿のフィードバック 16) 論文に関するディスカッション 17) 論文に関するディスカッション 18) 論文に関するディスカッション 19) 論文に関するディスカッション 20) 論文に関するディスカッション 21) 論文に関するディスカッション 22) 論文に関するディスカッション 23) 論文に関するディスカッション 24) 論文に関するディスカッション 25) 論文に関するディスカッション 26) 論文に関するディスカッション 27) 論文に関するディスカッション 28) 論文に関するディスカッション 29) 論文に関するディスカッション (online授業) 30) 論文に関するディスカッション 		
成績評価基準 / Assessment criteria	博士論文の進捗状況と内容の深化・進化の程度		
教科書 (参考書) / Textbook/Reference Materials	必要に応じて指定する。		

課程 / Program	博士後期課程	開講年度・学期 / Semester	2026年度 1期、2026年度 2期
授業区分	週間授業	合併講義等	
授業名 / Subject	論文指導グローバルコミュニケーション		
授業担当教員/Faculty	鈴木 茂		
授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	<p>博士後期課程での研究を深め、円滑に研究が実施できるようにリサーチワークを行う。学位論文作成を目指して、研究テーマに則した研究計画を立て、先行研究の収集・分析を行い、研究仮説の設定、研究方法の決定、データ収集と分析、結果と考察、課題の整理などを適切に行えるように指導する。研究の進捗状況を考慮して、定期的に学位論文の中間報告を基に討論する。生成AIの利用については、随時指示します。</p>		
授業計画 / Schedule	<p>第1回: 授業の目標と概要 第2回: 研究テーマの検討 第3回: 先行研究の発掘 第4回: 先行研究の整理 第5回: 先行研究の検討 第6回: 先行研究の決定 第7回: 研究仮説の設定 第8回: 研究仮説の討議 第9回: 研究方法の検討 第10回: データ収集(予備研究)の検討 第11回: データ収集(本研究)の検討 第12回: 研究計画策定 第13回: 予備研究の対象地域 第14回: 予備研究の調査実施計画設定 (オンライン) 第15回: 予備研究の調査実施計画発表</p> <p>第16回: 予備研究調査の報告 第17回: 予備研究調査結果の整理 第18回: 予備研究調査結果の検討 第19回: 予備研究調査結果の考察 第20回: 予備研究調査結果の課題 第21回: 予備調査報告書の作成 第22回: 対象地域、仮説の見直し 第23回: 研究方法の見直し 第24回: 研究計画の見直し 第25回: 本研究の調査実施計画の設定 第26回: 本研究の調査実施計画の検討 第27回: 本研究の調査実施計画の再検討 第28回: 本研究の調査実施計画の最終決定 第29回: 本研究の調査実施計画の発表 (オンライン) 第30回: 本研究の調査実施計画の課題の整理</p>		
成績評価基準 / Assessment criteria	毎回の報告と討論に基づいて評価します。		
教科書 (参考書) / Textbook/Reference Materials	<p>教科書は使いません。</p> <p>参考書 伊丹敬之『創造的論文の書き方』有斐閣、2001年 小熊英二『論文の書き方』講談社現代新書、2022年 久米郁男『原因を推論する』有斐閣、2013年 佐藤郁哉『質的データ分析法』新曜社、2008年 高根正昭『創造の方法学』講談社現代新書、1979年</p>		